

“ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（総括表）

（教育委員会）

事業 番号	事業名 (担当課・事業費)	結 果	県民評価者 判定内訳(人)			
			県の関与不要			
11	「大地に学ぶ」農業 体験推進事業費 (学校教育課) (8,840 千円)	県の関与必要 (見直し・縮小)	県の関与不要	1		
			県の関与必要	33	見直し・縮小	22
					現 行・拡充	11
		結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由				
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき ・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき ・効果がない、低い、不明確なため、事業内容を見直すべき 				
		具体的な見直し・改善策又はその他意見				
<ul style="list-style-type: none"> ・目的の核となる部分がよく分からない。この事業を通して最も実現したい目標を絞り、やり方を見直すべき。 ・目的の一つであるキャリア教育についての成果指標を調査・数字化し、目的と成果のリンクを図ってほしい。 ・農業系高校を守るのは分かるが、協力校に市立、町立が多いため、市町と連携する必要がある。 ・高校生よりも地域に深いかわりを持つ小中学生を主体とし、遊休地と地域の農家の方々、JA 等の力を借りての学習とし、そこに高校生が関わる活動が好ましい。 ・農業従事者の減少に対応するため、特に高校生の農業体験に重点を置くべき。その場合、農業高校だけでなく、他の高校にも広げた方が良い。 						

事業 番号	事業名 (担当課・事業費)	結 果	県民評価者 判定内訳(人)			
			県の関与不要			
12	しずおか型部活動 推進事業費 (学校教育課) (19,900 千円)	県の関与必要 (現行・拡充)	県の関与不要	2		
			県の関与必要	32	見直し・縮小	12
					現 行・拡充	20
		結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由				
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を充実し事業費を増額すべき ・現行どおり実施すべき 				
		具体的な見直し・改善策又はその他意見				
<ul style="list-style-type: none"> ・学生が学校生活において部活動に占める時間はとても大きく大切である。強くなりたい、上手くなりたいと誰もが思い、練習している。多忙な教師に任せるのではなく、外部指導者を多く配置してほしい。 ・教員本来の教材研究の時間や生徒に向き合う時間確保のため、外部指導者等の派遣を増員すべき。 ・中高連携による運動部指導経験の浅い部活顧問の研修等の回数を増やすべき。 ・エキスパートだけでなく、指導員不足解消のため外部コーチの活用を幅広く進めるべき。 ・部活動は健全育成のためにも必要、自信をつけるためにもある程度レベルの高い活動が大切。 						

“ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（総括表）

（教育委員会）

事業 番号	事業名 (担当課・事業費)	結 果	県民評価者 判定内訳(人)				
25	学校・家庭・地域の 連携による教育支援 活動促進事業費 (社会教育課) (39,439 千円)	県の関与必要 (見直し・縮小)	県の関与不要	3			
			見直し・縮小	19			
			現 行・拡充	9			
		結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由					
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき ・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき ・効果がない、低い、不明確なため、事業内容を見直すべき 					
		具体的な見直し・改善策又はその他意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・大人の視点ではなく、子どもと年の近い人(大学生等)の視点から見ることも必要。 ・地域住民、特に高齢者の活用を考えるべき。元教員や有識者も多いと思う。 ・事業内容について地域の理解を得ることに努めるべき。 ・学校が開かれた環境になる仕組み、取組ができれば良い。支援、研修が重複しないよう、他部局とも連携し効率化を。 ・親の意識も変えていけたら、もっと子どもたちの活動を増やしてあげられるのではないか。 							